


## 審査結果報告書

平成 26 年 2 月 12 日

主 査 氏 名 宮 地 鑑 

副 査 氏 名 阿 原 克 雅 

副 査 氏 名 西 山 和 利 

副 査 氏 名 井 上 優 介 

1. 申請者氏名 : DM10008 及川 淳

2. 論文テーマ :  
非侵襲的電気生理学的特性評価システムによる心房細動の検討

3. 論文審査結果 :

心房細動は臨床現場で最もよく認められる不整脈であり、特に高齢者ではその頻度が増加している。合併症に脳梗塞や心不全を発症し、特に脳梗塞に関しては現在の医療経済の大きな負担となっている。

申請者は、高速フーリエ変換を用いて心房細動波特性を評価し、臨床因子がどのように心房細動のリモデリングに影響しているかを検討した。その結果後ろ向きの研究ではあるが、スタチンが心房細動のリモデリングを抑制し得るという結果を導き出した。また、心房細動波を含めたパラメータを用いて、心房細動の臨床病型が導き出されるかを検討した。その結果、心房細動周期長、心拍数、左房径が臨床病型判別の因子になることを示した。スコアリングに改善の余地は残したものの、有用なパラメータを導き出したことは今後の臨床現場において大いに活用され得るものであると考えられた。

公開審査においては、本研究の意義、本研究の限界、今後の展望に関して申請者は明確かつ的確に受け答えをしていた。厳重なる審査の結果、本研究は医学博士の学位を授与するに値する研究であるとの結論が全員一致で得られた。